

中国鬼話の分類と索引づけ

宮田 菜央

中国鬼話は中国における当時の文化や慣習を知るうえでも有用な資料となりうる。鬼話をはじめとする小説を検索するための二次資料としては、すでにその地名・人名・事物名に対する索引が作成されているが、話の主題や鬼の外見・性格などの特徴に基づいて検索できるツールは存在しない。そこで本研究では小説、特に鬼話について、そのなかに含まれ、検索の際の索引語となる可能性の高いことばの整理・統制を行うとともに、鬼についてはその外見や能力など、鬼話になかでどのようなことが記されているかを整理し、検索に役立てられるようにした。さらに、教訓を含む鬼話の主題についても索引語を設定し、その統制を行っている。

本研究では対象鬼話について「出典」・「題名」と鬼話中に書かれている「時代」・「地名」・「人名」・「話のキーワードとなることば」(以下、「キーワード」と称す) および「鬼について書かれた部分」(以下、「鬼の特徴」と称す)を実際の表記に従って抽出するとともに、話の内容については「主題」として著者自身のことばを付与した。それぞれの鬼話について以上8つの項目をデータ化し、さらに、「キーワード」・「鬼の特徴」・「主題」の3項目に対し整理を行った。

「キーワード」は民俗調査の諸分類を参考に検索の際に役立つ体系表を作成し、本文中から抽出したことばを振り分けて整理した。「鬼の特徴」は日本語訳された本文のなかで鬼についてどのような内容が書かれているかに着目して索引語を設定・付与した。また、鬼話の「主題」としてはさまざまなものが考えられるが、ここでは「戒め」などの教訓を含む11の内容に絞り、ことばを設定・付与することとした。加えて、物事の道理を示す話も主題に関するものとして整理している。本研究においては話の主題や鬼の特徴といったテキスト中には出てこないことばを含めた検索が行えるよう、その索引語の整理・統制を行い検索の際の手がかりとなるものを作成した。

(指導教員 松本浩一)